



# 平田 篤州

元産経新聞東京本社編集長

(一社)「檸檬新報舎」代表理事 福祉新聞社・関西支局長

## 光る海と青春の地

5歳から高校2年生までを高萩で暮らし、大阪の編集プロダクションで理事を務める平田篤州さん。「ふるさとの高萩を思う時、光る海が目浮かび、正に青春の場所です」と目を細めます。

子ども時代を尋ねると「中学校で生徒会長を務めた時に壁新聞を作成したこと。高校時代の弁論大会出場や出版委員会の新聞作りが楽しくて好きでした」と振り返ります。

産経新聞社へ入社後、「グリコ森永事件」「ソウル五輪」「北朝鮮拉致被害者帰国」などを取材。優れた人権報道などに贈られる坂田ジャーナリズム賞を2度受賞。論説委員として社説を執筆、テレビのコメンテーターも務められました。

退職後、社会福祉法人理事長、化粧品会社顧問を経て、現在は、檸檬新報舎で新聞発行、本の出版を進める一方、福祉新聞社や大阪ユニセフ協会の仕事を兼務されています。



## Profile

平田 篤州 Atsukuni Hirata

- 1975年 産経新聞大阪本社入社
- 2000年 産経新聞東京本社 編集長
- 2009年 産経新聞東京本社 執行役員・総合企画室長
- 2016年 (一社)「檸檬新報舎」創立 代表理事・編集長
- 2014年～ 高萩大使



# 鈴木 珠美

ベトナム料理研究家

ベトナム料理「Kitchen」オーナー

## 高萩を元気にしたい

西麻布のベトナム料理店を営む鈴木珠美さんは、ベトナム料理や文化など多くの著書を執筆し、料理番組にも出演。ベトナム料理を広めたいと、料理教室やイベント、動画配信も行っています。

高校卒業までを高萩で暮らし、1冊の料理本をきっかけにベトナム料理を学びたいと留学を決めます。「ベトナム語も分からず、知り合いもいなかったけど何とかかなるか。現地の学校で料理を教えてもらい、翌日に自分で食材を買って作ってみる」を繰り返した2年間。「諦めなかったのは、ベトナムが大好きだから」。高萩を元気にしたいと、市報たかかぎへのレシピ提供やベトナム料理教室の講師などにご協力いただいています。



## Profile

鈴木 珠美 Masumi Suzuki

- 1999年 ベトナムへ留学
- 2002年 西麻布に「Kitchen」を開店
- 2013年～ 高萩大使



# 大藤 晋司

テレビ北海道アナウンサー

## ふるさと高萩が1位

小学4年生から高校卒業までを高萩で暮らした大藤さんは、テレビ北海道のアナウンサーとして活躍。ニュース番組をはじめプロ野球、スキージャンプ、バスケットなどの競技実況を担当。

かつての情報番組『ズームイン!!朝!』に出演し、熱い野球解説をするキャスターとして記憶している人も多いのでは。

中学、高校時代、ラジオの深夜番組を夢中で聴いていた大藤さん。

石滝の衛星通信センター(現・さくら宇宙公園)のおかげで関西などの番組が高感度で聴けたことにより、「言語感覚が研ぎ澄まされました。あの体験がなければアナウンサーにはなれなかった。その意味でも私は“高萩が生んだアナウンサー”です」言葉はその人にとって“ふるさと”そのもの。

これからも”故郷・高萩”を背負って、言葉を紡いでいきます。



## Profile

大藤 晋司 Shinji Daito

- 1991年 中京テレビ放送(愛知)入社
- 2003年 テレビ北海道アナウンサー
- 2019年 報道制作局 アナウンス部長
- 2023年 アナウンス部チーフプロデューサー
- 2010年～ 高萩大使

# 高萩大使

The Ambassadors of Takahagi City

人生の歩みの中で 高萩とつながる

景色・風・匂い 思い出とともに よみがえる ふるさと高萩

自分を信じ それぞれのステージで 自分らしく輝き 歩み続ける

大使の皆さんに 高萩のよさを 広めてほしい…

思いを託します